



教育目標
 明るく思いやりのある子(きよく)
 進んで学ぶ子(かしこく)
 健康でねばり強い子(たくましく)

栄養士 宮城葵先生の食育講話「おはしと食器の正しい持ち方」

12月6日(水)に宜野座村給食センターの栄養士 宮城葵先生(写真4)を講師にお招きし、「おはしと食器の正しい持ち方」と題して、4年生に食育講話を実施しました。

講話の中で、おはし正しい持ち方を、①えんぴつを持つように1本を持つ(写真1)②点線の部分にもう一本入れる(写真2)③上手に持てたら、上のおはしだけ動かしてみよう(写真3)とイラストで示し、巨大なモデル(写真4)を使ってわかりやすく説明してくださいました。さらに、持ち方のわからない子ども達へは、一人一人個別の指導をしてくださいました(写真6)。でも、正しいおはしの持ち方を身につけるためには、毎日の食事の中で、気をつけて練習することが大切だそうです。ぜひ、ご家庭のほうでもイラストを参照にご指導、よろしく願います。

正しいおわんの持ち方もイラストで示しながら、教えてくださいました。おはしと食器を正しく持ち、食事をいただく事も大切なマナーであることもお話しなされていました。

これからも感謝の気持ちを忘れず、おいしい給食を正しいマナーでいただきますよう。

子ども達のために、栄養バランスのとれたおいしい給食の献立を工夫して作成している葵先生、いつもありがとうございます。そして、今日は、子ども達のために食事の際の「おはしと食器の正しい持ち方」の食育講話をしてください、本当にありがとうございました。

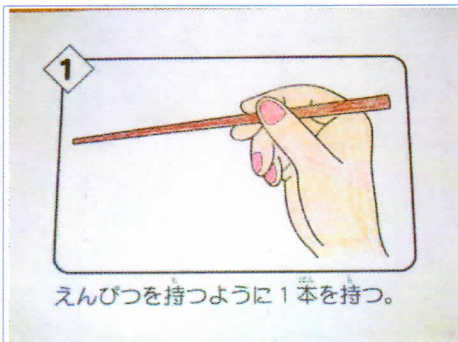


写真1 おはしの正しい持ち方①

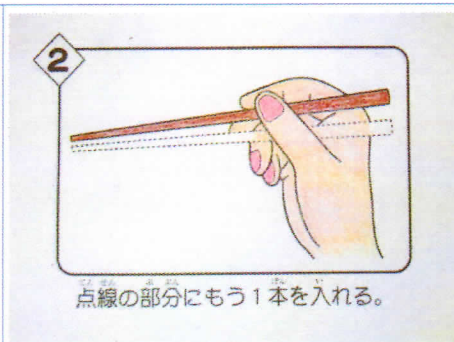


写真2 おはしの正しい持ち方②

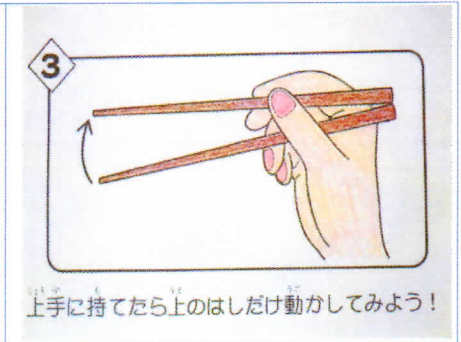


写真3 おはしの正しい持ち方③



写真4 葵先生とおはしの持ち方巨大モデル



写真5 正しいおわんの持ち方



写真6 個別の指導

早稲田大学の吉村真由美先生を講師に「くつの学習」を実施

12月12日(火)5校時、早稲田大学の吉村真由美先生を講師にお招きし、「くつの学習会」を2年生と4年生を対象に実施しました。

靴には、①足を守る。②けがを防ぐ。③運動しやすくする。という3つの役割があり、その役割を最大限に生かすための大切なポイントも①種類を選び②サイズを合わせ③正しいはき方の3つあるというお話でした。

日頃はいているくつのはき方して、反復横とびをして、その回数を確認しました。

その後、正しいくつのはき方を吉村先生に教えていただき、自分でくつを正しくはき直して、再び反復横とびにチャレンジしました。

正しいくつのはき方をすると、「くつが軽くなった。」「足にぴったりした。」「反復横とびの回数が増えた。」等の感想が子ども達からあがりました。

最後に吉村先生は、「正しいくつのはき方をすると、運動も今以上にできるようになるので、これからも正しいくつのはき方で、がんばってください。」とお話していました。



感想

- 今日の持久走大会で4位だったので、教えてもらった通りの正しいくつのはき方をして、来年の持久走大会にのぞきたいと思いました。(4年 男子)
- くつの正しいはき方をしないと、爪が変形したり、サイズが合わないと転びやすかったりくつので、くつのはき方やサイズは大切だとわかりました。家族にも教えてあげたいです。(4年 女子)
- 正しいくつのはき方は、かかとをトントンすることと、手を使ったはきことだとわかりました。今日から、正しいくつのはき方をしたいです。(2年 男子)